

キャラクター名
ルナリア・ナイトレイ

プレイヤー名

シンドローム	ソラリス ソラリス	ワークス	UGN支部長D	カヴァー	ビルオーナー
オプション		年齢	19	性別	女性
覚醒	渴望	衝動	自傷	初期侵食率	33%
出自	名家の生まれ	経験	平凡への憧れ	邂逅	いいひと(郡深紅)

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	24
肉体	0	0	1			1	行動値	4
感覚	0	0	1			1	(非装備時)	4
精神	2	0	0			2	戦闘移動	9
社会	6	1	1			8	全力移動	18

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC			交渉		2
回避			知覚			意志	2		調達		2
運転:			芸術:			知識:			情報: UGN		3
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
御旗の女神		0				女王の降臨+戦乙女の導き ダイス+1個、攻撃力+5
Liberate Marionette		0				女王の降臨+狂戦士 ダイス+14個、クリティカル値-1
射撃攻撃	交渉	8r+2		1		恐怖+コンセ
闘争の記憶	交渉	13r+2		6		導き+恐怖+コンセ

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
コネ: UGN幹部	
コネ: 警察官	
コネ: 研究者	
コネ: コーポレート	
コネ: マスメディア	
コネ: 要人への貸し	
思い出の一品	
専門書: レネゲイド	
情報収集チーム	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイム	消費
超血統(フルブラッド)	P	N		
郡 深紅	P 信頼	N 不安		
春日恭二: シナリオ	P 同情	N 嫌気		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 20 残り財産P: 8

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
コンセントレイト: ソラリス	2	2	-	-	-	-	-	
効果:	C値を-LV(下限値7)							
女王の降臨	4	5	セットアップ	至近	自身	自動	ピュア	
効果:	タイミング: メジャー、難易度: 自動のソラリスエフェクトを使用。1シナリオLV回まで							
戦乙女の導き	5	2	メジャー	至近	単体	自動	-	
効果:	対象が次に行うメジャーアクションのダイスを+Lv個、攻撃力を+5する							
狂戦士	7	5	メジャー	視界	単体	自動	80%	
効果:	対象が次に行うメジャーアクションの判定のクリティカル値-1、ダイスを+Lv×2個							
絶対の恐怖	1	3	メジャー	視界	-	対決	-	
効果:	装甲値無視の攻撃力+Lv射撃攻撃を行う。							
声無き声	★	-	メジャー	視界	シーン(選択)	自動	-	
効果:	あなたの脳内に直接話しかけています…							
隠し味	★	-	メジャー	至近	効果参照	自動	-	
効果:	味は良いですよ。見た目は…ともかく…							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

○経歴
麗しの容貌を持ち、裕福な家に生まれた少女は、異能力が備わったと解るや否や両親の庇護のもと手厚い指導を受け、UGNの支部長へと配属された。「お前は支部長としてそこに立ち、微笑んでいればいいんだよ」そうして一年が過ぎたころ、彼女に届いたのは両親の訃報。

——少女は、周囲が思うよりもずっと聡明であった。両親が後ろ暗いことをしていたことも、自分の支部長就任に作爲があったことも、周囲が自分をどう思っているかも解っていた。お飾りのお人形と呼ばれ、したことといえば戦いに赴く者への祝福程度。残されたのは一年間支部長を務めあげたという空っぽの実績と、冷やかな目線。操り糸に括られていた少女は——

「ああ、もう！知るもんですか！誰も彼も身勝手ばかり！」
ぶちりと、自らその糸を引き千切ったのだった。

○概要
口を閉ざして佇んでいる分には人形めいた美しさを漂わせるAPP17程度の美少女。母親が日本人と西欧系の血を引いており、父親が西欧系で外国の血が色濃いものの、生まれも育ちも日本。内側には年相応の好奇心と、反発心と、乙女心と、そんなようなものをしまこんでいる。両親に逆らうことを良しとせず、いわば言いなり状態でお人形支部長を務めてきたが、盾であり枷であった両親の死後は「好きにやってみよう」と思い直し始めた。両親を嫌ってはおらず「可愛いだけの着せ替え人形」ではない自分の何かを認めて期待して欲しいと思っていたが、終ぞ叶わなかった。周囲からの評価も厳しく、また両親の行いの悪さゆえに親戚からも疎まれていた自覚があり、そのうえで空っぽの実績がある以上即刻役職から降ろされることもままならない現状を冷静に把握している。